重点教育目標「確かな学びを通して、自分らしく未来を生きる生徒の育成」　第7号

湯倉が丘

令和5年9月25日発行

基本理念「自律・尊重」　HP：https://member-hakodateshiyunotyu.edumap.jp

One Rank Up（ワン・ランクアップ＝さらなる成長）

校長　田上 直広

“五感で感じる いにしえロマン” 校外研修（2年生）

9/1(金)朝学校発。厚沢部町道の駅でのトイレ休憩をはさみ江差追分会館着。江差追分の実演鑑賞で生の迫力に触れ、入口前で集合写真を撮り、江差いにしえ街道へ。クロームブックも活用しながら、班ごとに飲食店で昼食をとり、計画に基づき各ポイント（旧檜山爾志郡役所や法華寺、姥神大神宮等）を巡る。時折強い風雨に見舞われるものの、雨対策もしっかりと準備していたことで乗り切る。交通安全、時間厳守、見学地マナー等もよく充実した研修となった。

なお、**タイトルの One Rank Up は、２年生が考えて決めた校外学習のテーマです。**１年時の”湯川学”で身につけた力をさらに発展させようと取り組み、現在はまとめの成果物作成や、スライドで第三者に伝えるための事後研修に取り組んでいます。この体験学習に素晴らしい姿勢で取り組んでいたので、今後のまとめの発表会も楽しみです。

”湯川学”の要となる地域校外学習（１年生）

７月の“湯川学”講演会（熱帯植物園:鈴木園長）を終えて、１年生は楽しみにしていた地域校外学習を 9/1(金)から3日間実施しました（2日間は午後から、1日は昼食もはさむ3日日程）。多くのホテルや旅館、アリーナ等の施設、飲食店、神社、寺社、商店等の中から各グループのテーマにそって、見学や講話等をはじめ貴重な体験をさせていただきました。中学１年生には不慣れなこともあり、ご迷惑をおかけした面もあろうかと思います。しかしながら、戻ってきた生徒の笑顔を見て、話を聞くと大きな満足感や充実感が伝わってきました。コロナ禍を経て、お忙しい時期または時間帯に**温かいお気持ちで接していただき誠にありがとうございました。**まとめとしての成果物については、発表や展示の機会を設けますのでよろしくお願いいたします。

男子体操全国大会出場

８月25日(金)～27日(日)にかけて徳島県鳴門市で開かれた中体連全国体操競技大会に、３年圓子君、２年小野寺君、１年大久保君が、北海道地区の代表として、晴れ舞台で堂々たる演技を披露しました。

函館市中学生英語暗唱大会

９月９日(土)、標記大会が戸倉中学校にて開催されました。本校を代表して３年Ｂ組山下絢心君が出場し、２０人中３人目の発表という緊張感いっぱいの中でしたが、日頃の練習の成果を存分に発揮してくれました。

10月 行事予定

２日（月）　後期始業式（全校集会）
５日（木）　文化祭リハーサル
６日（金）　文化祭
９日（月）　スポーツの日
１０日（火）　認証式　代表専門委員会
１１日（水）　職員会議
１２日（木）　３年総合Ｂテスト
１６日（月）　教育相談①
１７日（火）　教育相談②
１８日（水）　議案審議　１年 IBA
１９日（木）　教育相談③　２年 IBA
２０日（金）　教育相談④　特別支援学級社会見学　３年 IBA
２３日（月）　３年思春期教室
２４日（火）　２年職業体験
２７日（金）　生徒総会
３０日（月）　１年思春期教室

全国学力・学習状況調査から

4月 18, 19日に、**現３年生を対象**に行われた全国学力・学習状況調査（国語、数学、英語、生徒質問紙）の、本校分の結果が届きましたのでお知らせします。実施教科では、**全国の平均正答率を 100 とした場合に、国語は 94.6**（昨年度 98.5）、**数学は 92.3**（昨年度 85.6）、**英語は 92.1**（昨年度なし）でした。この結果を受けた、本校での分析や今後の重点課題を、生徒質問紙の結果とあわせて以下に紹介します（抜粋）。

【 国 語 】　□ **成果がみられる内容**　■ **課題がみられる内容**

□事象や行為、心情を表す語句を理解している。
□古典原文と現代語文章とを対応させて内容を捉えることができる。
■文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
■文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。

【 数 学 】

□数と整式の乗法の計算が正確にできる。
□四分位範囲や反比例の意味など基本的な知識が身についている。
■事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。
■複数集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。

【 英 語 】

□情報を正確に聞き取ることができる。
□社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。
■社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができる。
■日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる。

【 上記アンダーラインを共通課題としてふまえ、全教育活動で以下を意識した取組を推進します 】
・根拠や理由をもとに自分の考えを表現する場面のある授業づくり　・互いに学び合い、表現し合う教育活動づくり

【 生徒質問紙 】　□ **全道・全国平均を上回る項目**　■ **下回る項目**

□いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
□**先生はあなたの良いところを認めてくれていると思いますか。**
□**先生は間違えたところやわからないことをわかるまで教えてくれるか。**
□将来の夢や目標を持っているか。
□友人関係に満足しているか。
□**学校に行くのは楽しいか。**　＊90%以上が肯定的回答。全国平均は約80%

□考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組み立てなどを工夫して発表していたか。
□学習の中で ICTをよく使用しましたか。
□総合的な学習の時間では、課題を立てて情報を集め整理して調べたことを発表するなどに取り組んでいますか。
■家で計画を立てて勉強をしているか。
■平日，家でどのくらい勉強しているか。 ＊2時間以上が全国平均より約10%低い

３年生の数値結果ではありますが、**先生方との良い関係性や自己肯定感や有用感、授業をはじめとする学校生活への満足感等の高さ**が伺われ非常にうれしく思います。引き続き良好な点を伸ばしていけるように努めます。なお、課題としての家庭学習については、以下３点を考えております。**①クロームブック持ち帰り推進強化**＝復習としての AI ドリルの個別活用、予習としての探究的・調べ学習推進。**②テスト(含：小テスト)の追試・再試の推進強化**＝再チャレンジの奨励で家庭学習への意欲喚起。**③定期テスト前におけるアウトメディア週間の推進**（小学校，家庭と連携）。どうぞご家庭でのご理解とご協力をお願いいたします。